

ニューズレター雪氷北信越

No. 19 平成3年5月20日

日本雪氷学会北信越支部発行

目次

第4回総会、研究発表会・製品発表検討会案内／理事幹事会・顧問評議員会／
プログラム／講習会・学習会報告／

第4回総会および 研究発表会・製品発表検討会 6月1日（土）開催

※プログラムは2～3頁です。奮ってご参加下さい。
なお、同封の出欠票および委任状を5月25日までに
ご投函下さい。

報告

理事・幹事会／顧問・評議員会 報告

4月16日（火）、長岡市『けさじろ荘』にて平成2年度第4回理事会・第3回幹事会が開催されました。平成2年度の事業報告・会計報告のあと、平成3年度の事業計画・予算案が審議され、学習会活動については、開催回数や講師謝礼について増やす方向で新年度検討することとなりました。また予算案については平成2年度の実績で行うが、次期全国大会準備金を用意することとしました。第4回総会の予定、昨年度全国大会決算報告の後、国際雪氷学会長岡シンポジウムの準備状況が報告され、近々第2回案内が送付される予定です。最後に支部長より、学会本部理事会について、

1. 全国大会開催 日程：10/28～10/31 於：筑波学園研究交流センター
2. 学会法人化状況。
3. 本部総会前に各支部幹事長より支部活動報告を実施予定。
4. 本部総会前に議案を会員に送付する。
5. 衛星分科会設立。
6. 機関誌『雪氷』の編集体制の変更に關する提案。

等の報告がありました。

引続き、同会場にて平成2年度顧問・評議員会が開催され、支部長・幹事長から平成2年度支部事業、平成3年度事業計画、IGSシンポジウム等の予定が報告されました。

その後、お集まり戴いた14名の顧問・評議員の方々と理事・幹事との懇親会が丸山顧問の音頭で開催され、和やかなうちにも貴重な御質問や御意見を戴きました。

日本雪氷学会北信越支部
総会および研究発表会・製品発表検討会

日時：平成3年6月1日（土）
場所：富山大学黒田講堂会議室

プログラム

- ・研究発表会Ⅰ（10:30～12:00）
座長 高瀬信忠（金沢大学工学部教授）
 - 1. 積雪の移動圧に関する実験
○寺谷拓治・川田邦夫（富山大・理），相浦英春・嘉戸昭夫（富山県林試）
 - 2. 極地氷床における氷化過程
○三谷 与・庄子 仁（富山大・理）
 - 3. 雪山の融雪抑制
○対馬勝年（富山大・理），谷井文夫（とやまの雪研究会），
藤井昭二（富山大・教養）
 - 4. 脈動散水による融雪促進装置
○加藤雄久（大島農機），高見晋一（北陸農試）
 - 5. 流雪溝の面的流量の計算方法について
○杉森正義（福井県雪対策技術センター）
 - 6. 流雪溝による雪輸送に関する基礎的研究
○福岡祐介（長岡技科大），吉永一義（JR西日本），早川典生（長岡技科大）
 - 7. 粉雪雪崩の模擬実験
○福岡祐介（長岡技科大），大澤和幸（長野県庁），早川典生（長岡技科大）
- ・昼食（12:00～12:45）
- ・定期総会（12:45～13:30）
- ・研究発表会Ⅱ（13:50～16:10）
座長 中村 勉（長岡雪氷防災実験研究所所長）
 - 8. Austrian Glaciers and Austrian Glaciology
○Thomas Wiesinger（北陸農試）
 - 9. 1991 寒候期における新潟県上越地方の積雪
○横山宏太郎・大野宏之・小南靖弘・Thomas Wiesinger（北陸農試）
 - 10. 酸性雨・酸性雪の化学成分について
○佐藤和秀・多賀 稔・田辺 元・山腰秀樹（長岡高専）

11. 融雪抑制泡の諸性質の測定
○梅村晃由・東 信彦・上村靖司（長岡技科大），河口健二（㈱マツダ），
吉野 敬（長岡技科大），古川征夫（㈱アルゴス）
12. コンプレッサによる雪の管内輸送
ー輸送距離の延長に伴う雪の投入箇所の増設についてー
山口 肇・佐藤和秀・岩田 実・○Ahmad Hassan・宮口信廣・佐藤哲郎・
高橋 剛（長岡高専）
13. 水滴計数型降雪センサーによる降雪強度測定
○田村盛彰（長岡工業高校）
14. 滑落抑止・促進任意制方式の屋根雪処理システム
○田村盛彰（長岡工業高校）
15. 路面凍結の推定・予測手法の研究その3
○中尾正義・清水増治郎（長岡雪氷防災研），高橋修平（北見工大）
16. 長岡市街地信濃川東岸地域の雪害度
○上村靖司・梅村晃由（長岡技科大）
17. '91. 十日町市 雪保存利用実験事業
○樋口利明（十日町市建設部克雪都市計画課）
18. '91. 夏期・私的・利雪企業・ミニ・デモ
○樋口利明（十日町市）
- ・休憩（16:10～16:25）
- ・製品発表検討会（16:25～17:30）
座長 早川典生（長岡技術科学大学教授）
19. 粉碎式融雪装置の開発
尾崎純介（松本市），○小林俊一（新潟大・災害研）
20. 融雪抑制用泡製造機
○梅村晃由（長岡技科大），渡辺聖司（釧路高専），
上村靖司（長岡技科大），河口健二（㈱マツダ），上石 勲（㈱アルゴス）
21. 温水パネルシステムの屋根融雪施工例
○湯本喜久雄・高頭洋晴（ソーラーシステム㈱）
22. 特殊合成ゴムマット屋根融雪システム
○浜田 武（サンロール・エネルギー㈱）
23. 道路融雪における積雪センサー使用による節水効果について
宮本重信（福井県雪対策技術センター），○山田忠幸（㈱山田技研）
- ・懇親会（17:45～19:30）

講習会

新潟地区講習会の報告

下記の通り新潟地区講習会が開催された。長岡周辺が大雪の最中での開催で参加状況にも影響が出たが、その中を集まった受講者達は類稀な状況下での講習に真剣に取り組んだ。関連記事が学会誌『雪氷2号』－地方便り－に掲載予定である。

日 時：平成3年2月23日（土） 13:00～17:00

場 所：新潟県古志郡山古志村虫亀、虫亀闘牛場及び集落センター

テーマ：積雪の断面観測と雪の含水率の測定（通算第2回）

講 師：田村盛彰氏（長岡工業高校）

遠藤八十一氏（農水省森林総研）

和泉薫氏（新潟大学災害研）

五十嵐高志氏（長岡雪氷防災研）

佐藤和秀氏（長岡高専）

参加者：13名

日 時：平成3年2月24日（日） 9:30～12:00

場 所：新潟県古志郡山古志村古志高原スキー場

テーマ：アルペンスキー技術の実際（第1回）

講 師：塩野谷 明（長岡技術科学大学）

参加者：4名

学習会

福井地区平成2年度第2回学習会報告（通算3回）

当初の案内を少し変更し、流雪溝にポイントをしぼった形で開催しました。福井県雪対策技術センター・福井県雪技術研究会の3者共催。

と き 1991年3月18日（月） 13:00～16:30

と ころ 福井県職員会館 401号室

内 容 流雪溝の計画・設計に関する技術問題

(1) 面的流量の計算方法

福井県雪対策技術センター 杉森正義

(2) 設計日降雪深について（流雪溝及び消雪工等に対する）

福井県雪対策技術センター 山本重男

(3) 壁面塗装による流雪能力の向上について（工法紹介）

㈱大塚工業 大塚成太郎

(4) 閉塞防止工法（スノークラッシャー）について

㈱吉水建機 吉水清治

参加者 42名

現場サイドの話題であるので、県の担当およびコンサルに案内したところ非常に好評であった。

（杉森）